

事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司地域づくり協議会)
-----	-------------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	周防鑄銭司設置1200年記念事業の実施		
	事業名	地域振興・交流事業	決算額	50,000円
②	視点	長沢池周辺を地域内外からの人の交流及び憩いの場として整備		
	事業名	環境美化事業	決算額	497,000円
③	視点	地域住民の安全確保のため南海トラフ地震を想定した減災活動		
	事業名	防災活動推進事業	決算額	75,000円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①記念事業として周防鑄銭司跡にて「周防鑄銭司1200フェス」を山口市文化財保護課との共催で開催し、「富寿神宝」の草文字と1200の人文字をドローンで撮影するというイベントを開催しました。草文字は地域の方に草をかってもらって文字を作り、人文字はInstagramやチラシ、自治会長さん等のお声がけで当初の予想をはるかに上回る500人超の参加がありました。多くの方々の自治会活動への協力が得られ、成功裡に終わられました。	◎
②地域のシンボルとなっている長沢池の池畔に芝桜とフジバカマを植栽して、環境部会が中心となって管理しています。春先の草取りや夏場の水やり、周辺の竹木の伐採などを行い地域内外から訪れる人の憩いの場になるように整備しました。	◎
③震度5弱の地震をテーマに、地域全体で防災訓練を実施しました。その中で、緊急連絡網が機能するかの確認をはじめ、避難訓練対象地区では過去の地震災害についての共有化や避難場所をどこにするか等の座談会を行い、自助・共助の必要性が共有できました。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

総務企画部会では、令和7年度に周防鑄銭司がこの地に設置されて1200年の節目の年を迎えたことから、令和7年10月11日(土)周防鑄銭司跡で「周防鑄銭司フェス」を開催した。また、鑄銭司ふるさとまつりにおいて、周防鑄銭司遺跡跡から出土した5種類の銭貨をデザインした模倣通貨(鑄銭司通貨)を使用して、平安時代のような屋号をつけたお店(バザー)で買い物ができるイベントを行い、地域住民の交流の場づくりになりました。

教育福祉部会では、フレイル予防に向けたウォーキングを実施し、記録表に日々歩いた歩数を記入することにより運動量を実感でき、継続的な運動習慣を身に付けることにつながりました。

地域防災部会では、今宿区4地区の142人が参加し、地震を想定した避難訓練を実施。その他の地区では情報伝達訓練を行い地域防災力の向上を図ることができました。

環境部会では、長沢池池畔の芝桜、フジバカマの草取り・草刈り・水やり及び環境整備を定期的実施し、憩いの場づくりの推進ができました。

各部会とも、年度当初の計画通り事業推進できましたが、これまでの振り返りを行い令和8年度の地域づくり活動に反映させてまいります。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5, 352, 404円(うち自主財源10, 202円)
事務局の 運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名・事務局員3名、計4名体制 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 事務局長1名、事務局員3名が協力して地域づくり業務にあたり、効率的かつ的確な事務局運営を行うことができた。 (今後に向けて) 専門部会の部会長等と事務局が事業の進め方について綿密に打合せを行い、効率的な事業運営を実行する。

(2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	50, 000円
事業概要	(実施内容) 自治会通信・自治会報の内容充実 (実施時期) 通年 (参加人数) ①800世帯・企業50社 (成果) ①自治会通信5回発行・自治会報(総会報告書)1回発行。 ②ホームページへの自治会通信アップロード(5回) ホームページリニューアル インスタグラムの活用 (評価) 地域づくり活動の内容や情報を地区民に周知してもらうため、広報誌やホームページを活用し、広く理解と協力が得られた。また、周防鋳銭司1200年フェスを開催するにあたりインスタグラムを活用して地区内外にPRを行った。 (今後に向けて) 分かりやすく、楽しんで読んでもらえる広報紙作成のため、地域に密着した情報収集や情報発信をして行く。

事業名	地域振興・交流事業
事業費	400, 000円
事業概要	(実施内容) ①地域行事等の運営の支援 ②地域と企業との交流事業開催 ③周防鋳銭司設置1200年記念事業 (周防鋳銭司1200フェスの開催・貨幣チケットでお買い物) (実施時期) ①4月、11月 ②1月 ③10月 (参加人数) ①500人 ②60人 ③ 1,000人 (成果) ①地区民体育祭や鋳銭司ふるさとまつりに支援を行った。②新年互礼会を開催。 ③10月11日周防鋳銭司遺跡跡で「周防鋳銭司フェス」を開催。また、ふるさとまつりで、「鋳銭司通貨でお買い物」を企画し、鋳銭司で発見された通貨を印刷した鋳銭司通貨を使って平安時代風の店名を掲げた模擬店で買い物をしてもらった。 (評価) ①多くの参加者があり賑わった。 ②地域の企業や市長をはじめとする市関係者、新成人もまじえた地域住民が58人集い新年互礼会を開催した。地区内の企業・商工振興会や新成人から挨拶をもらい、とても和やかな雰囲気楽しんでもらった。 ③周防鋳銭司フェスは約1000人の参加者があり、地域内外の参加者があり交流が図れた。また、周防鋳銭司跡で出土した貨幣に親しんでもらえた。 (今後に向けて) 地域のイベント等に多くの地域の方々や地元企業の参加を促し、交流が深められるよう工夫する。

(3) 地域福祉

事業名	子ども教育・高齢者福祉関係事業
事業費	170,000円
事業概要	(実施内容) ①子育て環境の整備(子育て支援) ②子どもの自立支援(子育ての集い) ③認知症サポーター養成講座参加 ④認知症声掛け(徘徊)体験会参加 (実施時期)①②5月 ③9月 ④11月 (参加人数)①②81人 ③40人 ④40人 (成果) ①②子どもの自立支援をはじめ、子育て環境の整備、幼稚園・小中学校と地域との連携事業の支援を行った。 ③④高齢者の安心安全が得られるために見守活動の研修をおこなった。 (評価) ①②子どもの自立及び子育て環境整備に役立った。 ③④多くの方が講座や訓練に参加してくれたことで高齢者の安全安心につながった。 (今後に向けて) ①②更に多くの子育て世代との交流の場作りと、幼稚園・小中学校と地域の連携を深める。 ③④多くの方がきめ細かい見守りが出来るよう参加を促す。

事業名	健康づくり事業
事業費	58,014円
事業概要	(実施内容) フレイル予防に向けたウォーキング実施 (実施時期)3月～2月末 (参加人数)約80人 (成果) 記録表に日々歩いた歩数を記入することにより運動量を実感でき、継続的な運動習慣を身に付けることにつながった。また、期間中の到達歩数によりくじ引きを行うことで、やる気を増進させた。 (評価) ウォーキングによる運動機能の向上によりフレイル予防につながった。 (今後に向けて) ウォーキングの裾野を広げていき、地域の健康寿命を延ばす取り組みを行う。

(4) 安心・安全

事業名	防犯対策推進事業
事業費	258,000円(うち自主財源81,000円)
事業概要	(実施内容)①早朝夜間青色防犯パトロール実施 ②新規防犯灯設置等 (実施時期)①、②通年 (参加人数)①早朝夜間・四辻駅前青色防犯パトロール23人 ②新規防犯灯設置なし (成果)早朝夜間地区防犯対策協議会と連携し、「青色防犯パトロール」を早朝50回、夜間48回実施したことで、地域内の犯罪抑止力強化につながった。 (評価)早朝夜間の青色防犯パトロール実施により、地域住民の安心安全につながっている。地域内の防犯灯は正常に機能を発揮している。 (今後に向けて)高齢化の進展により、防犯灯が新たに必要な所は無いか、また、不要になった防犯灯が無いか、地域からの情報収集に努める。

事業名	防災活動推進事業
事業費	75, 000円
事業概要	(実施内容)①住宅用火災報知器の設置促進 ②防災訓練の実施③救命講習会の開催 (実施時期)①8月～2月②10月③11月 (参加人数)①5軒②142人③18人 (成果)今宿区4集落の121人と現地対策本部の21人で合計142人が参加し、震度5弱の地震を想定した避難訓練を実施。その他の地区では情報伝達訓練を行った。 (評価)単位自治会が主体的に地震についての災害想定を行い、緊急連絡網の整備や、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、各地区の実情に応じた防災訓練ができた。 (今後に向けて)令和8年度鷹ノ子区、令和9年度和西区令和10年度岡区を避難対象にして実施する。

事業名	交通安全推進事業
事業費	12, 000円
事業概要	(実施内容)交通安全運動期間中に地元企業を訪問し、交通安全の呼びかけとマスコット等の配付 (実施時期)9月 (参加人数)3人、8企業 (成果)地域サークルの協力により製作した、交通安全マスコット、交通安全コースターを地元企業に持参し、交通事故防止に向けた要請活動を行った。 (評価)地元企業に対して、交通事故防止の協力要請を継続的にすることで、交通安全意識の高揚が図れた。 (今後に向けて)鋳銭司第2団地の企業の一部が稼働を始めたことから、今まで以上に交通量の増加が予測されるため、より一層の交通安全活動に取り組む。

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	4, 017, 000円
事業概要	(実施内容)単位自治会からの要望申請で道路補修工事及び水路工事等を実施。 (実施時期)通年 (成果)生活道路の補修2件、農業用水路の改修5件の実施ができた。 (評価)水路の修復を実施できたことで、防災対策にもつながった。 (今後に向けて)地域内の要望を把握し、必要性が高いところから対応していく。

事業名	環境美化運動事業
事業費	497, 000円
事業概要	(実施内容)①長沢池の河津桜、芝桜、大平山のフジバカマ等の環境美化活動②地域一斉清掃活動の推進 (実施時期)①6、7、8、9、10、12、2月 ②11月 (参加人数)①延べ60人②50人 (成果) ①長沢池の芝桜や大平山のフジバカマ畑の草取り及び水やりと整地拡張及び周辺の伐採など大規模な整備を実施した。②通学路や歩道に放置されたゴミや空き缶等の回収を実施し、クリーンな地域づくりに貢献できた。 (評価) ①地域の憩いの場としての美化活動が継続できた。 ②地域の清掃活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 (今後に向けて) 鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえ、また行ってみようと思ってもらえるように、美化活動・花のある地域づくり活動を継続する。

(6) 地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	54, 000円
事業概要	(実施内容) 地域行事や資源を載せたカレンダーの制作 (実施時期)3月 (参加人数)約800世帯・企業50社 (成果) 令和7年のふるさとまつりに応募された写真や地域の人が地域内で撮影した花の写真に地域の行事を載せて地域カレンダーを作成した。 (評価) 地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすくなった。また地域でのさまざまな取組みの再発見に繋がった。 (今後に向けて) 地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に興味もってもらい、参加する人の拡大につなげていく。 但し、地域カレンダーが必要か否かを調べて、今後発行するかどうか決める。

事業名	伝統文化の継承事業
事業費	134, 054円
事業概要	(実施内容)①伝統芸能伝承活動への支援 ②七夕まつりへの参加 (実施時期)5月、7月、11月 (参加人数) 約200人 (成果) 鑄銭司小学校運動会において小学生全員とボランティアの中学生が笠踊りを披露した。また、七夕まつりやふるさとまつりにおいても笠踊り伝承保存会を中心にわくわく学級の子供達や中学生などで踊りを披露した。伝承活動の継続と継承者の育成が図れた。 (評価) 小学校の運動会の前には保存会の方が笠踊りの指導に行きます。また、保存会の方々や自治会の有志の皆さんで7年度は3回練習会を開催した。伝承活動を継続実施した。 (今後に向けて) 運動会やまつりなどで笠踊りをPRする機会を増やし、新たな踊りの参加者を増やし、交流の場を通じて地域の貴重な伝統文化の継承を図る。

事業名	ふるさと歴史勉強会事業
事業費	19,380円
事業概要	(実施内容)①歴史講演会等 ②史跡探訪(スタンプラリー) (実施時期)①随時 ②4/19～12/28 (参加人数)①15人 ②240 人 (成果) ①鑄銭司の文化財や史跡を巡るツアーに参加してもらい、一緒に歩きながら文化財や史跡の説明を聞いてもらった。 ②キーワードを探しに大村益次郎関連スポットをめぐり、興味を深めてもらう。 (評価) ①②地域の歴史や文化財や史跡に興味を持ってもらい、知ってもらうことで地域の情報発信につながった。 (今後に向けて) 専門家によるふるさとの歴史を学ぶ講演会や、文化財、史跡を巡るツアー等、魅力あるイベントを企画して、鑄銭司地域内外の方との交流を促進する。

(7)地域学習

事業名	周防鑄銭司遺跡発掘調査支援事業
事業費	49,350円
事業概要	(実施内容)「周防鑄銭司遺跡」の冊子発行 (実施時期)9月 (参加人数)10人 (成果)周防鑄銭司遺跡の鑄造の様子や、発掘調査で出土した銭の紹介などを、小学生にも親しみやすいクイズも交えたリーフレットを発行した。出来上がったリーフレットは小学校や10月11日開催の「周防鑄銭司フェス」で配り、周防鑄銭司を知るのに大いに役立った。 (評価)鑄銭司遺跡から出土した貴重な貨幣や鑄造の様子を多くの人に知ってもらえた。 (今後に向けて)事業は終了ですが、出土した貨幣を地域内外に周知し、地域の交流人口を増やす。